

網膜対応検査-⑩残像ひきとり(転送)試験; After image transfer test

①Haidinger's Brush を利用する方法②Euthyscope を利用する方法 補足) マドックス正切尺を利用する方法

準備物 残像検査用具①coordinator②Euthyscope・散瞳薬・スクリーン 補足) マドックス正切尺 分離方法 それぞれの中心窩に残像と①H. B. ②黒丸残像 補足) マドックス光源 検査方法 F 対 F

補足) は実は片眼残像試験; Monocular After image test
After image test で転送試験ではない。
アトラス斜視 P102 より

目的 偏心固視がある場合や片眼固視不良な弱視症例での網膜対応の把握

原理 正常対応ならば健眼の中心窩の残像は患眼の中心窩と対応しているはずであるから、患眼の中心窩に引き取る。これを確認する為、H. B. や中心窩に照射した黒丸で他眼の中心窩にあるかをみる。もしずれているならば、対応異常だね。

